

## Ⅱ 学校経営構想

### 1 学校経営の基底

#### (1) 地域の状況

##### ① 広大な学区

4つの小学校と2つの高等学校が学区内にある。また、市役所、裁判所、警察署、消防署、図書館、病院などの公的機関が集中している。通学距離の最長は約9kmである。

##### ② 学校教育に対する様々なニーズ

保護者の職業は多種多様であり、学校への期待も多様である。本校五大祭等の学校行事や授業への保護者参観は多数に上るが、PTA活動への参加は一部の保護者にとどまる傾向にあったが、改善の兆しが見られる。

#### (2) 学校の概況

##### ① 創立78年目の大規模校

現在の校舎は昭和55年に完成し、43年を経て現在に至っている。平成22年度に武道場が、平成25年度には新第2体育館が完成し、集会や部活動に活用している。

##### ② 学校給食の実施

平成14年4月、隣接する城西地区給食センター新築に伴い給食を開始した。

#### (3) 生徒事情

##### ① 秋田県北地域最大規模の生徒数

生徒数は5月1日現在395名。前年度比60名の減少であるが、県北地域で最多生徒数である。昭和38年には1500名を超える生徒が在籍していた。

##### ② 高い進学率

令和5年度の上級学校への進学率は98%である。進学先は市内3高校への進学が約86%、その他は隣の北秋田市や秋田市内県内、県外への進学である。

##### ③ 生徒指導上の問題

全体としては落ち着きが増している。基本的な生活習慣の確立や学校生活への適応のための取り組みはよりよい方向に向かっている。保護世帯等は増加傾向にある。

##### ④ 盛んな部活動

約88%の生徒が部活動及び地域クラブ活動に参加。学校生活の楽しさや充実を部活動に求めている生徒が多い。令和6年度も引き続き、部活動を通じた心と体の成長を感じる部活動に向かう。

#### (4) 通学事情

##### ① 自転車通学の状況

通学距離にかかわらず希望者の自転車通学を認めているため、自転車通学登録生徒は全体の約98%である。

##### ② 交通量の多い通学路

国道や幹線道路が通学路になっている生徒が多い。また、JR路線も学区内を通っている。交通量が多く、危険箇所として特に9か所を指定し常時注意を喚起している。

#### (5) 特色ある教育活動

##### ① ふるさとキャリア体験の場としての中一五大祭

体育祭、合唱祭、学校祭、結晶祭、卒業祭を学校行事の柱とし、「役割・協力体験」「探求・創造体験」「勤労・交流体験」「表現体験」「達成・感動体験」等をふるさとキャリア体験の場として位置付けている。それらを職場体験と五大祭に関連付けて活動を構成し、卒業祭を集大成の場としている。